

1977. 12. 19

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 154

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ 計算機利用の予算管理について	1
◇ 科学研究費による利用者へ	1
◇ 交換回線用TSS 端末を設置される方へ	2
◇ FORDAP システムの利用と使用説明書の頒布について	2
◇ データセットの確保量のリスト方法について	2
◇ カタログドプロシジャの変更について	3

◇ 計算機利用の予算管理について

FACOM 230-75システムでは、支払責任者ごとの予算管理サービス(予算額を超えた時の措置を1.無視 2.警告 3.打ち切りの3通りに分けて管理)を行っていましたが、新システムでは当分の間この管理ができませんので、計算機の利用に際しては予算管理に十分ご配慮願います。

(共同利用掛 電(内)2256)

◇ 科学研究費による利用者へ

先に述べた予算管理については科学研究費の場合も同様ですが、特に科学研究費による利用超過分を校費によって支払うことができませんので、超過しないよう十分ご注意ください。

なお、科学研究費による課題の有効期限は2月25日となっていますが、所属部局によっては科研費の締め切りが早い場合がありますので、経理担当者と打合せのうえ、ご利用願います。

◇ 交換回線用TSS端末を設置される方へ

交換回線用端末の設置を計画される場合、機種を選定に際し接続テストなどの便宜を計っていただきます。ご希望があれば共同利用掛までご連絡ください。

(共同利用掛 電(内)2256)

◇ FORDAP システムの利用と使用説明書の頒布について

FACOM 230-75 M-VII で稼動していた FORDAP システム (九大ライブラリ, No.164, L2/FORDAP) は, FACOM M-190 OS IV/F4 へ移し換える作業が完了し, 利用できるようになりました。新しい OS IV/F4 FORDAP システムは, 次の2点で従来のものより改善されています。

- 1) 実行コストとしてのCPU時間計測精度が 1 msec から 1 μ sec に向上したこと。
- 2) ほとんど全ての異常終了に対処できるようになったこと。

従来と同じく, プログラム作成時の診断に大いに活用していただきたいと思います。

なお, 新システムでの利用に関して, 「M-190 OS IV/F4 FORDAP システム使用説明書」ができあがりましたので, 頒布を希望される方は, 共同利用掛まで申し込んでください。

(共同利用掛 電(内)2256)

◇ データセットの確保量のリスト方法について

現在, 確保しているデータセットの確保量を知ることができるように, センターで, カタログプロシジャー「DSL LIST」 と TSS コマンド「DSL LIST」を用意しました。

これを用いることにより, データセットの確保量のほかに, ボリューム通し番号, 作成年月日, エクステンツの個数, データセットの編成, レコード形成についての情報も得ることができます。

<使用方法>

i) バッチの場合

```
///ジョブ名      JOB  課題名, パスワード  
/// EXEC DSLIST [, SYSOUT = {  $\frac{A}{K}$  } ]  
///
```

ii) TSSの場合

```
READY  
DSL LIST  
}
```

このようにすると、例えば、つぎのような結果が出力されます。

INFORMATION OF DATA SET.

USER'S DATA SET NAME	LOGICAL SPACE(KB)	VOLUME SERIAL	CREATION	EX_ TENT	DS_ ORG	RECFMT
F0001.FILE1.DATA	13	PUB005	771118	1	PS	FB
F0001.FORT.LOAD	65	PUB005	771118	1	PC	U
F0001.FORT.OBJ	130	PUB005	771118	1	PS	FB
F0001.KEISAN.FORT	13	PUB001	771118	1	PS	VB
F0001.TRIANGLE.FORT	13	PUB005	771118	1	PS	VB

◇ カタログドプロシジャの変更について

区分データセットの全メンバ名を印刷(ディレクトリを印刷)するためのカタログドプロシジャ“LISTPDS”は、53年1月から使用できなくなります。使用方法は異なりますが、別のカタログドプロシジャ“PRINTD”によって代用することができます。詳しくは、利用の手引「データセット編」を参照して下さい。

データベースあるいはデータ・ライブラリの利用に関するアンケート

九州大学 大型計算機センター

最近、大規模なデータ処理に関する要求が強まってきました。例えば、文献ファイルを利用して、目的の文献に対する情報を検索したり、多量のデータを大勢の人で共用して利用することなどです。これらの大規模なデータに対する情報処理を実現する手段として、当面、次の二つが考えられると思われま

- 1) データベース化^{*}して、統一的に取り扱えるシステムを作成する。ただし、次の2)に比べ、システムの開発に時間と人手を必要とする。
- 2) 従来のファイルシステムのままで、ファイルを共用可能にする。すなわち、ファイルの管理（データの作成、更新およびその保守）は、利用者あるいは利用者のグループで行い、ファイルの確保に対しては課金しないが、ファイルを利用することに、その利用者に対して課金される。センター側である制限（例えば使用回数）をもうけ、それに満たないファイルは消去される。—— 東大大型計算機センターでは、この方式をデータ・ライブラリと呼んでいるので、以下この名称を用いることにする。

本センターでも、このデータベースあるいはデータ・ライブラリの利用について現在検討中ですが、まず利用者の方々がどのような要求をもっておられるかについてアンケート調査し、これからの検討に備えることになりました。ご多忙のおり、誠に恐縮に存じますが、どうかよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

なお、ご回答は、1月14日（土）までに、センター共同利用掛もしくは2階受付まで提出あるいは郵送ください。

* データベースに関する概説が、九大大型計算機センター広報 Vol. 10, No.4 にありますのでご参照ください。オンラインデータベースシステムとして、AIM (Advanced Information Manager)、オンライン情報検索システムとして、FAIRS (FACOM Advanced Information Retrieval System) があります。

《 アンケート用紙 》

所属	〔 大学 高専	学部 研究所	〕 学科
氏名	〔 〕		

- ① あなたの研究分野についてお書きください。あなたの分野では、大規模データの情報処理についてはいかがですか。

〔 〕

- ② データ・ライブラリについてご回答ください。

1. データ・ライブラリとしたいデータ（またはプログラム）の内容についてお書きください。

（例： …… に関する測定データ， …… に関するプログラムパッケージなどなるべく詳細に）

〔 〕

2. そのデータ（プログラム）はどのようにして入手されますか。

（例： …… から購入，自分たちのグループで作成など）

〔 〕

3. そのデータ・ライブラリで共用可能と思われる分野，あるいは利用グループの規模についてお書きください。

〔 〕

4. データ・ライブラリ方式について，センターに望むこと（たとえば課金の方式など）がございましたらお書きください。

〔 〕

③ データベースについてご回答ください。

- 1.希望されるデータベースの内容についてお書きください。また、文献情報などでその名前が分かっているものについては、それも書き加えてください。

(例：…に関する文献データ，名前…などなるべく詳細に)

[]

- 2.そのデータはどうして入手されますか。また、作成機関の名前が分かるものについては、それも書き加えてください。

[]

- 3.そのデータベースの有用性についてお書きください。

[]

- 4.そのデータベースを利用すると思われる分野，あるいは利用グループの規模についてお書きください。

[]

- 5.データベースについて、センターに望むこと(たとえばデータベース管理システムの開放についてなど)がございましたらお書きください。

[]